



# 平成30年度 公開研究会

研究主題

## 「合わせた指導」の基本を徹底した授業づくり (第二年度)

平成30年9月28日(金)公開研究会を行いました。県内外の特別支援学校のほか、小学校や大学から27名の方々に参加していただきました。本研究会で得られた、たくさんの御助言を基に、今後より一層の授業改善に努めて参ります。



### 小学部3年 生活単元学習

#### 「どうぶつはかせになろう③」

～みんなで わくわくどうぶつえんを つくろう～

児童が主体的に学習に取り組むための導入の工夫をテーマに協議を進めました。協議の中で、制作場面における試行錯誤が話題に上がり、試行錯誤にはねらいと、それを支える手立てが必要であるという意見が出されました。出来たか、出来なかったかという評価ではなく、何を学んだかが大切であると確認しました。

### 中学部2年 生活単元学習

#### 「くりた中2プロデュース!第1弾」

～あっぱれな人形劇「こぶとりじいさん」を

プロデュース!～

生徒が自分自身の課題や課題解決の方法に「気付く」、「試す」、そして次時に「つなげる」ということをテーマに協議を進めました。学びを次時につなげるためには、生徒の自己評価や思考の流れに沿った指導が大切であることを確認しました。



### 高等部 普通科 作業学習 紙工班

#### 「ランプシェードの製作Ⅱ」

本時の学びを次時につなげるための教師の評価の手立てをテーマに協議を行い、評価規準を明確にすることで、手立ての具体化が図られることを確認しました。また、作業の種別を超え、共同で行う製作についても話題になりました。

### 高等部環境・福祉科、寄宿舎 ポスター発表

<環境福祉科>

教育課程の改善を通じた「実践的な職業教育の取組」

～職域に対応した学習内容、実習の導入～

<寄宿舎>

生活自立に向けた個別の「生活実習」の取組

